

2014 年 5 月 13 日

事業内容、事業の効果に関する写真

事業名：ザルカ県ハシミーヤ市における青少年のための「職業訓練センター」の設立・運営事業
(フェーズ3)(ヨルダン・ハシェミット王国)

事業期間：2013 年 2 月 14 日～2014 年 2 月 13 日

1) 職業訓練プログラム

ハシミーヤ市が管轄する The Modern Village を事業地として、フェーズ2に続き職業訓練センターを開校し、各種職業訓練プログラムを実施した。各ターム期間は以下の通り。また、第2タームからはザルカ市サテライトコースも開催した。

第1ターム：2013 年 3 月 10 日～2013 年 6 月 30 日

第2ターム：2013 年 9 月 17 日～2014 年 2 月 12 日

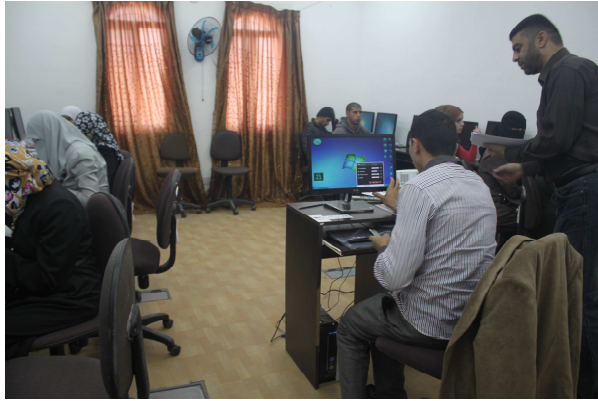
【PC コース】

グラフィックデザイン、CCNA の2クラスからなる PC コースを開講し、2ターム計5クラス実施した。参加者のレベルを測る事前テストを実施し、授業を開始した。



左：グラフィックデザインクラスの様子。コース修了にあたり製作した作品を発表する参加者（第1ターム）。

右：グラフィックデザインクラスの様子。日本人スタッフ（現地統括：久保）より、コース修了証が渡される。コースを修了するためには出席日数、テスト結果などの基準を満たさなくてはならない（第1ターム）。



左：グラフィックデザインクラスにて、現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Motasem）と講師が参加者に丁寧に説明をした（第2ターム）。

右：グラフィックデザインクラスの様子。参加者がひとりずつ自分たちの作成したプロダクトデザインを発表した（第1ターム）。



左：CCNA クラスの様子。相談しながら、ネットワークの仕組みを学ぶ参加者（第1ターム）。

右：CCNA クラスの事後テストの様子。このテストの点数によって、コース修了できるか左右される。真剣にテストに望む参加者（第1ターム）。



左：CCNA クラスにて、講師がワイアレスネットワークについて説明する様子（ザルカ市サテライトコース/第2ターム）。

右：CCNA クラスの様子。参加者の約半数は女性で、そのうちの一人は優秀な成績をおさめ、コース終了後、OJT 先が決まった（ザルカ市サテライトコース/第2ターム）。

【機械修理コース】

携帯電話修理、PC / プリンター修理、ラップトップ修理及び中古バッテリー再生・太陽光発電クラスを2ターム計8クラス開講し、クラス修了時に就業に優位になるよう、実践的なコース内容となった。



左：携帯電話修理クラスの様子。携帯電話の基板について、講師が参加者一人一人にきめ細かい指導を行った（第1ターム）。



右：携帯電話修理クラスの様子。参加者は実際に携帯電話を分解して、内部構造を学んだ（第1ターム）。



左：携帯電話修理クラスにて、一人一台ずつ携帯の中身のボードを開き、半田ごてを使い修理している。（第2ターム）



右：携帯電話修理クラスにて、それぞれ修理したボードを講師とともに修理具合を確認する様子。（第2ターム）



左：PC /プリンター修理クラスの様子（第1ターム）。



右：PC /プリンター修理。講師がPC修理の概要を説明し、参加者は熱心に耳を傾けた（第1ターム）。



左：PC /プリンター修理クラスの事前テスト。テスト合格が受講の条件であるため、真剣にテストに臨む参加希望者（第2ターム）。



右：PC /プリンター修理クラスの様子。（第2ターム）。



左：ラップトップ修理クラスの様子。参加者が講師の指導のもと、ラップトップ本体を分解して、各部品の配置を学んだ（第1ターム）。



右：ラップトップ修理クラスの様子。参加者は内部構造を学ぶとともに、実際にラップトップを起動させて、その動作確認をモニター上でも学んだ（第2ターム）。



左：中古バッテリー再生・太陽光発電クラスは各分野専門講師を招いて、中古バッテリー再生セッションおよび太陽光発電セッションを開講した。写真は太陽光発電セッションの様子。小型のパネルを手にとり、講師に質問する参加者（第1ターム）。

右：太陽光発電セッションにて、大型のパネルを屋外に出して、その仕組みを学ぶ参加者。国家目標として、ヨルダンでは太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの更なる利用を掲げている（第1ターム）。



左：中古バッテリー再生セッション、事前テストの様子。クラスが始まる前に、参加者がどの程度バッテリーの知識があるかを確認した（第1ターム）。

右：中古バッテリー再生セッションの様子。講師はプロジェクターを活用しつつ、バッテリーに関して講義を行った（第1ターム）。



左：中古バッテリー再生セッションの様子。講師の説明を熱心に聴いている参加者たち。専門性が高いため、もともと電気分野等の大学を卒業している参加者も多い（第2ターム）。

右：バッテリーの歴史を知ること、どのようにバッテリーが発展し今のかたちになったのかを、もともとの内部構造から学んでいるところ（第2ターム）。



左：中古バッテリー再生セッションで、岡田専門家（バッテリー再生専門家）がバッテリー再生の過程について、図を用いて説明している様子。（第2ターム）

【共通コース:コンピュータスキルコース】

ICDL、タイピングコースの2クラスからなるコンピュータスキルコースを開講し、2ターム計4クラス実施した。基礎から応用までを学び、就職につながるスキルを優先して授業は参加者から人気であった。



左：ICDL クラスの様子。参加者に対して、丁寧に講師が各ソフトの使用方法について説明した（第1ターム）。



右：タイピングクラスにて、実際にパソコンを使用しタイピングの練習をしている参加者たち（第1ターム）。



左：ICDL クラスの事前テストを行い、参加者のレベルにあったクラスを開講していく（第2ターム）。



右：タイピングクラスにて、ワードに文字をタイピングし、それぞれ議題に沿った文章を作成している様子（第2ターム）。

【共通コース：英語コース】

参加者のレベルに沿って初級・中級・ビジネスレベルの3クラスを設置し、文法、会話、ライティング、リーディングを組み合わせ、実践的な能力の向上を目指した英語コースを開講した。



左：英語初級クラスの様子。講師はテキストブックに沿ってだけではなく、臨機応変に参加者の興味を引くような授業を行った（第1ターム）。

右：英語初級クラスの様子。参加者の多くは若く、講師の質問に活発に挙手して、発言し、授業は明るい雰囲気の中で行われた（第1ターム）。



左：英語中級クラスの様子。講師の隣で授業の補助をする現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Najwa）。クラス運営は現地スタッフに支えられている（第1ターム）。

右：英語初級・中級クラス合同のプレゼンテーションの様子。快活な様子で他の参加者を前に発表をした（第1ターム）。



左：英語ビジネスクラスの様子。ビジネスレターの書き方の説明を行った。ビジネスクラスでは、より就職活動の際に優位になりうる英語のスキルを教えた（第1ターム）。

右：英語ビジネスクラスの様子。日本人スタッフ（現地統括：久保）より、コース修了証が渡された（第1ターム）。



左：事前テストを受ける参加者。この点数によって英語初級クラスか中級クラスに入るかが分かれる（第2ターム）。

右：英語ビジネスクラス（TOEFL クラス）にて、TOEFL 対策本を使用し、リスニングテストの練習をし、実践的なビジネス英語を取得するため一生懸命取り組む参加者たち（ザルカ市サテライトコース/第2ターム）。

【OJT 研修】

職業訓練コースにおいて、意欲と能力の高い参加者を協力企業・団体に派遣し、コースで取得した技能を職場で実践する OJT を実施した。加えて、基礎的な事務処理能力の向上が必要な参加者には職業訓練センターにて OJT 研修を行った。



左： 中古バッテリー再生・太陽光発電クラスに関連して、エネルギー、水資源及び環境問題について討議された国際会議 International Conference on Energy, Water and Environment が4月21日から23日にかけてハシミエテ大学（ザルカ市）で開催された。インターン生は 当日はブース説明員として、中古バッテリー再生事業とその他の職業訓練センターの事業の説明を行った。

右： コンピューター及び周辺機器のメンテナンス会社の OJT に参加したインターン生。彼はマネージャーから高い評価を受けた。



左： センターで SPBR コースを受講し、実践的な内容を学べたと話す参加者。自身の持っている知識を応用し、ソーラーパネルのデザインを専門とする会社に OJT 研修に入った。その後、彼の実力が認められ、スタッフとして雇用された。

2) 就業支援プログラム

フェーズ2に続き、就業に有益な知識・技能、勤務姿勢を身に付けるため、各種就業支援プログラムを実施した。また、OJT 研修経験者より職業訓練プログラム参加者へ、OJT 研修の経験を伝えることにより、就業をより近く感じてもらえるようワークシェアリングセッションを開催した。

a. ソフトスキルワークショップ



左：参加者が Soft skills セミナーを受講し、積極的に質疑応答やロールプレイを通して学んでいる様子（第1ターム）。

右：参加者が就職活動において必要となる履歴書の作成方法や面接の受け方などの講義を受けている様子（第1ターム）。



左：ワークシェアリングで、OJT 研修受講生が各仕事やそれぞれ OJT を通して学んだこと・感じたことなどを発表し、参加希望者が積極的に質問し、聞いている様子（第2ターム）。

b. 会社訪問

開講クラスに関連した業種において、業務内容や必要とされるスキル、適性等、仕事についての情報を提供する仕事内容説明セミナーを実施した。

【PC コース】



左：CCNA クラスの会社訪問の際の記念撮影。訪問先の CCNA トレーナーより、ネットワークの重要性に関して説明を受けた（第 1 ターム）。(2013 年 5 月 9 日、JCE company)

右：グラフィックデザインクラスの印刷会社訪問の様子。参加者は実際の販促物を手にとりつつ、印刷会社での作業工程を学んだ（第 1 ターム）。(2013 年 5 月 9 日、Red Points Printing Press)



左：グラフィックデザインクラスの印刷会社訪問にて、実際働いているスタッフの話を聞きながら、印刷機を目の前にし、興奮しつつも真剣に話を聞く参加者たち（第 2 ターム）。(2013 年 11 月 30 日、Al-Fanar Printing Press)

右：CCNA クラスの通信系大企業会社訪問にて、参加者が通信システムについての説明を聞く様子（第 2 ターム）。(2014 年 1 月 8 日、Orange Company)

【機械修理コース】



左：携帯修理クラスの携帯電話会社訪問の様子。参加者は実際の作業場を見学しながら、エンジニアより、細かな技術の説明を受けた（第1ターム）。(2013年5月11日、NOKIA Company)

右：PC/プリンター修理クラスの会社訪問の様子。エンジニアのPC修理に関する説明を受けて、質問する参加者（第1ターム）。(2013年5月13日、CSH company)



左：携帯修理クラスの会社訪問にて、Samsung BCIで壊れた携帯の修理を説明を受けながら見学しているところ。携帯修理部門だけでなく、全体的な修理サービスの流れの説明を受けながら、その中で修理部門がどのような位置・役割を果たしているのかを学んだ（第2ターム）。(2014年2月2日、Samsung BCI)



左：中古バッテリー再生・太陽光発電クラス参加者はアンマンのNational Center for Research &

Development Energy Research Program (NERC) を訪問した。太陽光発電部門長から、屋外に設置された太陽光パネルを前に事業の経緯と適用した技術について説明を受け、参加者は熱心に質問した（第 1 ターム）。(2013 年 6 月 13 日、National Center for Research & Development Energy Research Program)

右：第 1 タームと同様の施設を訪問し、太陽光発電設備を実際見て実践的な太陽光発電システムの仕組みについて説明をうけた（第 2 ターム）。(2013 年 10 月 23 日)

【共通コース：コンピュータスキルコース】



左：ICDL クラスが仕事内容説明セミナーの一環としてザルカの Social security cooperation（社会保険事務所）を訪問した。事務所マネージャーより、Social security cooperation の被雇用者にとっての重要性について説明を受けた。(2013 年 5 月 9 日、Az Zarqa- Jordan- Social security cooperation) 第 2 タームでも、同会社を訪問した。(2013 年 11 月 15 日)

【共通コース：英語コース】



左：ビジネス英語クラスが仕事内容説明セミナーの一環として、英語を日常的に用いる翻訳会社を訪問した際の様子。経営者より、翻訳会社の業務、そして英語スキルの伸ばし方について説明を受けた。（2013年5月6日、Al JurJani Company for Translation）

右：初級/中級英語クラスが車両レンタル会社を訪問した際の様子。実際に海外からの観光客の送迎にあたるドライバーより、英語を使用するの具体的な業務について説明を受けた。（2013年5月25日、Amra Company for Renting Tourist Cars）



左：初級/中級英語クラスがNICCODのシリア人道支援事業を行っているザルカ支援センターを訪問した。国際NGOの職場での英語の必要性や、英語のスキルアップの方法について、それぞれ現役のスタッフが話した（第2ターム）。（2013年12月17日、NICCOD ザルカ支援センター）

右：ビジネス英語クラスของบริษัท訪問の様子。特に高い資格が必要とされないドライバーの仕事を、身近に英語を使える職業として訪問した。社員の方から英語は話さないと上達しないこと、また英語を話せば誰とでもコミュニケーションが取れ、世界が広がると話している社員の方へ質問をしながら聞いているところ（第2ターム）。（2013年11月30日、Amra Company for Renting Tourist Cars）

c. 女性支援プログラム

ヨルダンでは宗教的及び伝統的背景から社会参加の機会に恵まれていない女性の社会的地位向上が課題になっている。当事業では女性の生計向上や社会生活における権利について講習を継続的に開催している。

●女性支援ワークショップおよびセミナー



左：キャンドル制作のセミナーの様子。キャンドル制作（2013年5月15日）に加えて、石鹼制作（2013年5月16日）、石鹼ラッピング（2013年5月20日）のセミナーを開催した。

右：母娘の相互理解を目的とするセミナー「Mother gathering」の様子。ソーシャルワーカーを招いて、女性参加者が社会人となっていく過程で母親と良い関係が構築することを目的としたグループセッションが行われた。（2013年5月27日）



左：自然派化粧品作りのワークショップを3日間（2013年11月18～20日）通して開催し、1日目はお酢を使った化粧品。2日目はクリームのみ作り方。3日目はラッピングの仕方やマーケティングについて学んだ。

右：職業訓練センターにて、オリーブオイルを使った石けんや、自然派化粧品作りのワークショップから学んだスキルを使い、参加者自身で商品開発を行っているところ。参加者同士和気あいあいと会話をしながら取り組んだ。（2014年2月3日）



左：商品開発、収入創出及び社会進出の体験談を語る南シューナ現地 NGO アルジャワースレのメンバー。参加者は商品開発及び収入創出活動を継続し社会進出に成功した現地 NGO のアルジャワースレに所属する女性たちと交流した。(2013 年 5 月 18 日)

右：NGO アルジャワースレのメンバーの話熱心に聴く参加者達。(2013 年 5 月 18 日)



左：現地スタッフ（フィールドマネージャー：Mais）が、現地 NGO アルジャワースレの参加者が作った石鯿、オリーブオイル、小物等の商品を紹介した。(2014 年 1 月 29 日)

右：現地 NGO アルジャワースレのメンバーによる商品開発とそのマーケティング等の説明の様子。収入創出活動に興味を持った大勢の女性が集まった。(2014 年 1 月 29 日)

● 女性支援プログラム PC スキル講座（2013 年 9 月～11 月）



左：参加者へ基礎的な PC スキルを教える PC 講師（写真中央）。10 代の女子参加者に対して PC の基本的知識から講座を始めた。参加者の中には、PC の電源を入れたこともない者もいた。

右：インターネットや、メール、マイクロソフトの使い方等を質問を投げかけながら講座を進めた。参加者たちはとても積極的に応答し、また宿題も高得点で納めるものも多く、熱心に講座に参加した。講師への評価も大変良く、また次期も開講してほしいとの要望があった。

● 日本人女性自立支援専門家による女性エンパワーメントセミナー（2013 年 11 月 6 日）

国際社会での長年の職務経験から、女性の経済的・精神的自立について、専門性の高いセミナーを開講した。



左：日本人女性自立支援専門家（NICCO 理事長小野了代）が、女性の自立が、イスラム世界の中でもどのように重要なのかを説明しているところ。現地スタッフ（フィールドマネージャー：Mais、専門家の左）が通訳を行った。

右：日本人専門家による女性の社会進出の必要性、そのための家族のサポート、それぞれにライフスタイルに合った職業等についての講習に、興味深く耳を傾ける参加者たち。中にはすでに自宅で刺繍や編み物等で自身の仕事で収益を得ている者もあり、商品をみんなに見せ体験を話し合った。

3) 情操教育プログラム

【ストレスマネジメントプログラム】

ストレスに対処し、不安を解消する方法を学ぶ、ストレスマネジメントのワークショップを開講し、就業後も精神的に安定した生活を得られるようサポートを行った。



左：現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Mohammad）の主導下で、本格的にセッションに入る前の準備として、身体を用いたゲームをする男性参加者グループ（第1ターム）。

右：本格的にセッションに入る前の準備として、リアクション練習をする女性参加者グループ（第1ターム）。



左：演劇発表会に向け、現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Mohammad（中央）と Najwa（右））の主導下で、参加者のアイデアを元に作成した台本について、どのように演技をするか相談している様子（第2ターム）。

右：演劇発表会に向け、稽古をする前にミーティングを行い、その日の練習内容を確認する男性参加者（第2ターム）。



左：演劇発表会の本番が近づき、実際のステージでリハーサルを行う女性参加者（第1ターム）。
右：現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Mohammad）の主導のもと、実際のステージで段取りを確認し合う男性参加者（第1ターム）。



左：演劇発表会当日はヨルダン社会開発省、在ヨルダン日本大使館など、多くの招待客が訪れた（第1ターム）。
右：演劇発表会リハーサルにて、職場でよく直面する上司の横柄さについて参加者が臨場感溢れる演技を披露した（第1ターム）。



左：女性演劇発表では、女性として仕事に就くことについて、家族や恋人・友人との人間関係問題に悩まされながらも、自分のあり方等を見つめていながら問題を解決していく物語について、観客から良いコメントを多くもらった（第2ターム）。
右：会場満席という大盛況で、参加者の家族などを大勢の観客が訪れた（第2ターム）。

●日本人精神科医によるストレスマネジメントセミナー（2013年6月23日）



ストレスマネジメント関連の職務に従事するスタッフに対する、桑山専門家による心理社会的ケアセミナーの様子。

●日本人機械修理専門家によるセミナー

前フェーズに引き続き、日本人バッテリー再生専門家がバッテリー再生技術の指導者養成研修を行った。（2013年11月1日～11月9日）



左：セミナーでは、日本人バッテリー再生専門家（岡田専門家）により、より実践的な通信用バッテリー再生技術の説明を受けた。またバッテリー再生技術者養成に向け、現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Ali）とともに、機材の確認を行っている様子。



右：日本人スタッフ（現地統括：久保）、岡田専門家、現地スタッフ（Ali）が通信用バッテリー再生過程をパソコンにてデータとして抽出し、結果を確認している様子。

● 日本人材育成専門家によるリーダーシップ育成セミナー（2013 年 11 月 6 日）



左：日本人材育成専門家（NICCO 理事小野修）は、リーダーシップについて、自身の少年期の教育環境と日本の歴史を織り交ぜながら、歴史的人物がどのように世界で活躍したのか、またその影響を説明し、個人個人も先頭にたって、行動を起こすことの大切さを説いた。

右：参加した青少年や保護者は、日本の歴史から学ぶリーダーシップの必要性について聴講し、セミナー後は質疑応答が活発に行われた。現地スタッフ（プログラムコーディネーター：Najwa、専門家の右）が通訳を行った。

以上